

旭陵関西

発行人
旭陵同窓会関西支部長
安野 洋一
印刷所 (株)栄進社印刷所
TEL. 06-6632-7101

18年度 旭陵同窓会関西支部総会を迎えて



旭陵同窓会関西支部長
安野 洋一
(33期)

平成六年に発足した旭陵同窓会関西支部総会は今年で十三回目を迎えます。本会は第一回が一一〇名の参加者で、以後も九〇名前後を維持することが出来ていますが、これもひとえに歴代の幹事長をはじめとする役員メンバーの献身的な協力と参加者の熱意の賜物と感謝している次第です。

総会では、ご来賓として西高の校長先生、旭陵同窓会会長・幹事長をお迎えすることになっており、前回は貞末俊裕先生、前田日出三会長、藤本正三幹事長にご出席いただきました。また、総会後のアトラクションとして、下関にゆかりのある演奏家または講演者をお招きすることが恒例になっており、昨年は大阪府立弥生文化博物館長の金関恕氏による「下関の遺跡めぐり」の興味深いお話を伺うことが出来ました。今年は下関出身で映画「チルソクの夏」や「カーテンコール」の佐々部清監督の特別講演が予定されていますので、ご期待いただければと思います。

総会以外の親睦・交流行事についても第十一、十二回のゴルフ大会が四組ないし五組で行われ、特筆すべきは二度以上の優勝者がまだ一人も出ていないことです。また、ハイキングは秋が京都伏見酒蔵・歴史探訪散策、春が奈良葛城

山をめぐるコースで行われ、特に春は折からの暴風雨にもかかわらず二十四名全員が楽しく完歩出来たのは幹事の下見などの準備が万全であったお蔭と考えています。二月の第三回日帰り旅行は西舞鶴を訪れました。

ところで、私共三十三期生は今年が丁度卒業五十年になるのを機会に東京支部と関西支部を中心に浜松の館山寺で合同クラス会を行うことになり、入学時には西高生(女子生徒は南校舎)で二年時に西高から南高が分離したため、南高生として卒業した十一名も参加して総勢三十七名が有意義な機会を持つことが出来ました。五十年ぶりに再会した級友も多く、旧交を温めあいました。同時に良くも悪くも自分自身の歩んできた五十年を一瞬のうちに振り返ることができた気がして、クラス会(同窓会)の意義を再認識させられました。また、東京では同窓会の絆が関西以上に強いことも実感させられました。旭陵同窓会誌によるへの進学が多くなっていることから若い同窓生の参加を得て、更なる会の盛り上がりを目指したいと思います。

最後になりましたが、同窓会会長から西高体育館新築に伴う謝金寄付のための募金趣意書が皆様のお手元に届けられていることと、お礼申し上げます。関西支部といたしましては、お礼申し上げます。出費多端な折から大変恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。



山口県立下関高等学校校長
貞末 俊裕

平成十八年度旭陵同窓会関西支部総会が盛大に開催されます。心からお祝い申し上げます。また、同窓生の皆様方には平素から本校教育の充実発展に格段の御支援・御協力を賜っており厚くお礼申し上げます。

特に昨年は四月早々に部活動用のマイクパスを寄贈頂き、生徒達も直接試合会場に行くことができるようになりました。たいへん感謝しております。更に、普通教室へのエアコンの設置、理科棟やグラウンド照明灯も改修され、現在、体育館も新築中であり七月中旬には完成する予定です。体育館竣工を記念して十月二十日に文化庁の主催行事である「本物の舞台芸術(オペレッタ)」を公演することになりました。



旭陵同窓会会長
前田 日出三
(31期)

旭陵同窓会関西支部が益々発展しておられることを心からお喜び申し上げます。また、関西支部の皆様には、平日頃本部活動に深いご理解とご協力を頂いておりますことを感謝し、お礼申し上げます。

昨年、新会長として、支部総会にお招き頂きましてありがとうございます。

大阪府立弥生文化博物館館長、金関恕先生の特別講演は、面白く有意義で大いに満足致しました。また、多士済々、各界でご活躍の素晴らしい方々にお目にかかることが出来、嬉しく、誇らしく、私

「オペレッタ」を公演することになりました。さて、今春新たに二百九十三人が同窓会の仲間入りをし、全国各地で活躍を始めています。また、本年度は全日制七百九十九人、定時制六十三人の生徒数で、勉学や部活動にと順調なスタートをしております。

前述のように皆様方のお陰をもちまして、教育環境は格段の整備を進めることができました。今後は恵まれた教育環境を最大限に活用するため、あらためて校是「天下第一関」のもと「知・徳・体のバランスのとれた人間形成」をベースに据えつつ、「生徒一人ひとりの進路実現」を目標に、これまでに以上に充実した教育活動を推進することになっています。

今後とも本校教育の充実発展に御理解・御支援を賜りますようお願い申し上げます。旭陵同窓会関西支部の益々の御発展並びに会員の皆様の御健勝をお祈りします。

まで何か偉くなったような気持ちがありました。今でも楽しく思い出されます。その時、出費多端の折大変ご迷惑とは存じましたが、新体育館の備の一つとして、新しい綴帳を同窓会より寄贈することになりました。そのご協力をお願い致しました。よろしくお願ひ申し上げます。

今年の六月九日(金)西高文化祭に、東京女子医科大学名誉教授の須磨幸蔵先生(二八期)のご講演と、新体育館の落成記念行事として十月二十日(金)文化庁主催の「本物の舞台芸術」の一つとして、オペレッタが上演される予定になっておりますことをご披露申し上げます。

終わりになりましたが、今年の関西支部総会で皆様にお会い出来ますことを楽しみにしております。ともに、皆様のご活躍と、ご多幸を祈念します。

関高 平成18年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

- 日 時：平成18年8月27日(日)10:30~15:00
- 場 所：大阪弥生会館 大阪市北区芝田2丁目4-53 ☎06-6373-1841
(JR大阪駅、阪急梅田駅、地下鉄梅田駅より徒歩5分)
- 来 賓：前田同窓会長、本部役員、貞末校長 他
- 会 費：8,000円 (家族3千円)
- 式次第：10:30~11:00 総会
11:00~12:00

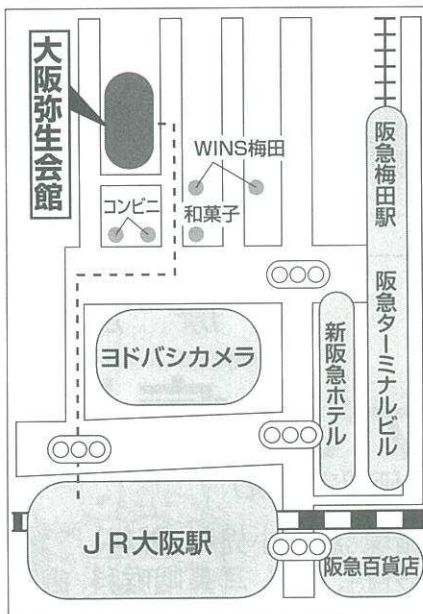
軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

特別講演会
佐々部 清氏 (映画監督)

◆演題◆ 「映画が人を作り、人が映画を作る」

12:10~15:00 懇親会 [福引あり!]

- ※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)
- ※今年より会費を引き下げました。つり銭のいらないようご準備下さい。
- ※なお、同封葉書にて出欠の連絡を7月31日までお願いします。
(欠席の場合も名簿整理上必ず返信をお願いします。無回答はやめましょう。)
- ※回答後、出欠等の変更がある場合は、事務局まで必ず連絡して下さい。



佐々部 清氏
一九五八年一月八日、山口県下関市生まれ。
明治大学文学部演劇科、横浜放送映画専門学院(現・日本映画学校)を経て、一九八四年より映画及びテレビドラマの助監督となる。
主に佐々部 清、和泉聖治、杉田成道、降旗康男などの監督に師事。
「陽はまた昇る」で日刊スポーツ映画大賞・石原裕次郎賞、日本アカデミー賞・優秀作品賞受賞(二〇〇二年)。
「チルソクの夏」で第44回日本映画監督協会・新人賞受賞(二〇〇三年)。「半落ち」で日刊スポーツ映画大賞・石原裕次郎賞、第28回日本アカデミー賞・最優秀作品賞・優秀監督賞・優秀脚本賞受賞(二〇〇五年)。

平成十七年度総会の状況

関西支部総会に参加して

当番幹事 大野靖人（五十二期）



大学を卒業し社会人となって約二十五年の年月が流れ、両親が他界したこともあり下関に帰郷することめっきり減ってきたところ、偶然にも「旭陵同窓会関西支部」の存在を知ったのが、二〇〇四年十一月のことでした。社内内部監査のため営業所に出張した時の打ち上げの席で、当時 津久茂所長（四三期）から「出身は何処？」というのが発端でした。

実家が引越した訳ではなく、兄が後を継ぎそのまま暮らしており、また転勤した訳でもありません。恐らく両親が健在の頃、案内が届いていたにもかかわらず、返信していなかったからだだと推察します。「誰がいるのだろう」と事前に同級生の名簿をメールで送信していただきましたが、全く記憶にありませんでした。本当に長い間、振り返ることなく仕事に明け暮れた歳月でした。五〇歳を目の前にしてやっと時間の余裕が出来た頃、タイミング良く関西支部の存在を知りラッキーでした。

これまで同窓会というものに参加したのは四年前に中学校のクラス会、一〇年前に大学のクラブ、二回のみでした。旭陵同窓会には初めて参加して、多くの同窓生が各地で活躍していることを知り、心強く感じた次第です。校歌・応

援歌を本当に久々に歌いましたが、若い頃の記憶力というものは素晴らしいですね。子供が卒業するまで当分の間はノンビリすることは困難だとは思いますが、お蔭様で下関に比較的中が良かった同級生が頑張っていることが解り、楽しみが増えまし

旭陵同窓会

関西支部総会に参加して



石崎 恵 治（48期）

私は、四八期生の石崎 恵治といます。滋賀県の野洲に住んでいます。今年早々高校サッカードで全国優勝した野洲高校のあるところ

私の職場は、大阪の梅田スカイビルにあり、毎日電車にて新聞を読みながら一時間半かけて通勤をしております。今回の同窓会開催も偶然にもこの新聞に掲載された「ふるさと情報」という欄で見つけたものでした。多分少数の人数の会合だろうと思いましたが、特に予定も無くまた職場の近くでの開催ということもあり飛びこみで参加させていただきました。（会場の前が、場外馬券売り場になっており、場所はすぐわかりました）（下関西高卒業後三十数年経っており、果たしてメンバー等わか

た。機会があれば是非とも連絡をとり、昔話を酒の肴に飲み明かしたいと思っています。少しくづつ体力の衰えを感じる一方で、厳しい現実を乗り越えていかなければなりません。五〇歳を目の前にし、将来あるべき自分の姿を見つめ直す機会になりました。公私共忙しいことを喜びに感じ、健康に留意しながら交友を深め、ずっと先になります。退職後を見据えて息抜きの仕方を模索していきたいと思っております。幹事の方々にはお世話になります。この方々から宜しく願ひ致します。（タツタ電線）

るか不安でしたが、やはり年々とは違って昔の面影は残っており楽しく歓談させていただきました。それにもましてこのように盛大に開催されているとは思ってもよさず驚かされた次第です。また、関西でも先輩後輩を問わず社会の第一線で頑張っておられる方が多いことにも刺激になりました。ますます

「縁」



時田 一 範（76期）

昨年九月の総会に「最年少」メンバーとして参加させて頂いた時田と申します。皆様覚えておられますでしょうか？どこを見回しても大先輩（または大大先輩、もしくは大大大先輩）に囲まれ、まごまごしていた私を暖かく迎えて頂き、大変感激したことが思い出さ

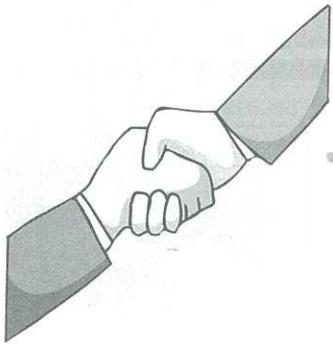
発展しまだまだ多くのメンバーが集う事を願う次第です。高校時代は、本当に勉強に遊びに楽しくも有り、苦しくもあつた三年間でした。進学校ということもあり受験中心の授業、たつた気がします。とは言っても課外では結構遊ぶテーマが転がっており、よく遊びよく学べといった具合でしょうか。下関にはたびたび帰ってはいらぬものの高校のメンバーにはほとんど便りがなく状況です。気のせい、最近下関の話題がよく目にとまります。NHKドラマ（義経）、万里の長城（天下第一関）、駅構内での自動車事件、駅的全焼事件、高杉晋作、安・総理か？といった具合に・・・私だけでしょか。

これから、関西支部だけでなく、都合つけば他の支部の同期生にもお会いしたいと思っております。今日この頃です。そのために、旭陵のHPは私の楽しみの一つとなりました。今後ともよろしく願ひいたします。（日本合成化学）

れます。その節はありがとうございます。実は私が総会に参加させて頂いたのは前回は二度目でした。最初は平成十二年の事だったと思ひます。当時、だ大学生だったのですが、矢野さんのお嬢さんが同じサークルにいらつしやいました。お嬢さんを通じてお誘いを受けたことがきっかけでお仲間に入れて頂きました。その時は本当に「縁」というものを感じました。こういったコミュニケーションがあることも知りませんでしたし、下関から離れた京都の地で、何千人と同級生がいる中で知り合った友達に意外な繋がりがあったわけですから、本当に驚きました。

進学で関西に出て以降、特に社会人となってからはこのように

「縁」や「繋がり」というものの大切さを感じることが幾度となくありました。全く違う業界に就職した大学の同期に、ひよんなことから仕事上で助けてもらったこと、あります。共通の知人がいることを知って、急速に親交が深まった友人もいます。昨春秋に結婚をしたことも、よく言われるように「縁」であると思ひます。また、私が旭陵同窓会に参加できたように、「繋がり」が新しい「縁がり」を生むことも多々あります。西高という「繋がり」で結ばれた同窓会は、各方面で活躍されている方々の集まりですから、私にとつて未だ見ぬ「縁」が眠っていると思ひます。お話もできていない方々も大勢いらつしやいますし、次の総会が大変楽しみに思ひます。最後に、同窓会参加者に私と同年代の人間がいないことはやはり少し残念です。毎年必ず関西の大学に進学してくる西高生はいるはず。彼等にコンタクトを取って旭陵同窓会の存在を知ってもらい、参加してもらえれば、会のさらなる発展にも繋がると思ひます。そして何より私の気が楽になると思ひます（笑）何か私にお手伝いできることがあればさせて頂きたいと思ひます。（りそな銀行）



（りそな銀行）

医療法人 祐生会

みどりヶ丘病院

（医療機能評価認定病院）

診療科目：内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、理学診療科、麻酔科、放射線科、人間ドッグ

ベッド数：329床

理事長 甲斐敏晴（31期）

〒569-1121 ☎072-681-5717代

高槻市真上町3丁目13番1号

みどりヶ丘介護老人保健施設

グループホーム みどりヶ丘荘

ベッド数：入所107床・通所50名

理事長 甲斐敏晴（31期）

〒569-1041 ☎072-692-3111代

高槻市奈佐原4丁目7番1号



安野支部長挨拶

平成17年度
第12回総会
於：大阪弥生会館
平成17年9月4日(日)



当番幹事挨拶



講演状況 (金関先生)



懇親会 (12期渡辺先輩)



福引き風景



集合写真1



来賓とともに歓談



歓談



集合写真2



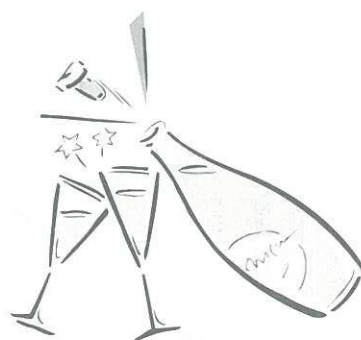
全員で校歌斉唱



2次会 (Pocketにて)



二次会にて校歌斉唱



社会福祉法人 みどりヶ丘会

理事長 甲斐敏晴 (31期)

グリーン特別養護老人ホーム

入所70名

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番15号
☎072-690-3331

グリーンケアハウス

入所50人

〒569-1041 高槻市奈佐原4丁目7番3号
☎072-690-3561

支部行事報告

ハイキング

京都伏見散策



稲田 照夫 (34期)

旭陵同窓会ハイキングも今回は八回目となり、幹事さんの方々の世話により関西旭陵同窓会の定例行事としてその地位を確立した感があります。今回も三十三名の参加者があり、特に私の同期生が三名も参加する事になり記念すべき回となりました。前置きはこれくらいにして今回のコースを簡単に振り返ってみます。

午前十時近鉄丹波橋駅中央改札口に集合。ここ三、四週間週末は雨模様で空模様を心配していたが、当日は朝からすっきりと晴渡り絶好のハイキング日和となった。ハイキングも回を重ねるにつれて顔見知りの同窓生も少しずつ増え、久し振りの再会を喜び、談笑する風景も其処此処でみられた。十時五分丹波橋駅を出発し、桓武天皇柏原陵に向けてゆるい坂道になった松並木の参道を登る。十時三十分桓武天皇柏原陵に到着。次に明治天皇伏見桃山陵と昭憲皇太后伏見桃山東陵へ向けてゆるい坂道を登る。十時五十分明治天皇伏見桃山陵へ到着。鬱蒼と茂る森林の中の参道を通り抜けると突然広大な空間が開け、手入の行き届いた上円下方の二つの御陵が現れる。周囲の静寂さに加え、その広大さに圧倒される感じがした。明治天皇御陵の正面には二百三十段の階

段があるが、今回は階段を迂回するコースになっており下から階段を見上げるにとどまった。これも幹事さん達の我々高齢者への思いやりと感謝し、乃木神社への坂道を下った。

乃木神社には十一時三十分に着し、拝観時間とも合わせて昼食をとった。乃木神社は我々下関出身者には縁の深い神社である。ただ境内正面にある乃木神社の説明文に誤りがある事を見つけ神主さんにその旨申し出た事は特筆すべき事ではなかるうか。誤りは二ヶ

葛城古道散策



西之原 稔 (35期)

第9回旭陵ハイキングは四月二日「日本神話のふるさと、葛城古道を歩く」と銘打って行われた。「葛城の道」は「西の山辺の道」ともいわれ、河内と大和平野を分断してそびえる金剛・葛城山地の西麓を辿るもので古代からの遺跡や社寺の多い所である。

午前十時、同伴者三人を含む、総勢二十五人が近鉄御所駅前に集合した。出発してほどなくゴロツと遠雷が鳴り、やや雨足が強まったが構わず進んだ。

柳田川の土手沿いには二、三分咲きの桜並木が続く、ピンクのボンボリが木々の間に見え隠れしているが人影はない。川を渡って田中の道をしばらくたどり、最初の目的地である鴨山神社に到着した。古く朝廷に皇居用建材を献上する際の祭りを司った由緒深い神社とのことである。

所あり、一ヶ所は長府の旧邸を説明する箇所「長府の旧邸」の場所を「長府（山口県萩市）」とあり、これは（山口県萩市）の誤りである事、もう一ヶ所は長府は（山口県萩市）ではなく（山口県下関市）である事を申し出た。神主さんからは「調べておきます」との返事を頂いたが、同窓生の中で再び乃木神社へ参拝する人が居ればこの点を確認しておく事も忘れないで下さい。

午後一時ごろ乃木神社を出発、伏見酒蔵へ坂道を下る。月桂冠大蔵記念館を訪問後、明治維新坂本竜馬ゆかりの寺田屋に到着。三時ごろ、寺田屋のすぐ近くにある黄

鴨山神社を出て、九品寺に向けて畦道を辿った。この辺りから極楽寺までの野辺にはいろいろな花々が見られ早春の雰囲気を感じ出していた。木蓮、コブシ、椿、桃、桜、馬酔木、レンギョウなど。青空の下ならばもっと華やかであろうと思いつきながら歩を進めた。二〇分ほどで九品寺に到着。山門に向かうと右手に八分咲きの見事なしだれ桜が現れ我々を迎えてくれた。この寺は奈良時代、聖武天皇の詔で僧行基が創建したもので、本尊阿彌陀如来像は国の重要文化財である。また、本堂裏手のつづ

ら折りの小径を巡り裏山に登ると千体仏という名前の通り千体に余る石仏群が鎮座していた。南北朝の戦乱時に奉納されたものという九品寺を出るとまもなく雨が激しくなり、ぬかるむ畦道を下り、ようやく一言主神社に到着した。境内に入りまず目に入ったのは大きな銀杏の木。高さ二十mほどの乳房を連想させるコブ状の木根が沢山たれ下がっている。「乳銀杏」の名が付けられていた。祭神は記紀や今昔物語に出てくるあの一言主で、どんな願い事も一言で聞いてくれるという。

旭陵同窓会

ゴルフ会への想い

福田猛彦 (三十五期)

関西支部の懇親ゴルフ会を始めて既に今回で十二回目となります。去る四月十五日（土）に新大阪ゴルフクラブにて十六名（五組）が参加して晴天の中、甲斐前支部長、古島幹事他が第一組として午前九時四十分スタート。その後、参加者面々がそれぞれの思いを胸

十二時半近く昼休憩の場所長柄小学校に到着。雨をさけて講堂の軒下を借りて昼食となった。酒、ワインなどのアルコールや自家製の漬物の差入れもあり和やかな一時を過ごした。講堂の脇の説明板にはこの場所は古墳時代の居館跡である事などの説明が書かれている。長柄小を出ると、天気は急に回復に向った。山側の雲がさかんに動き、葛城、金剛の山並みの一部が見え隠れし、さながら動く山水画の趣である。しかし、緩く長い登り坂が続く。休み休みようやく極楽寺に到着した。ちよつと珍しい鐘樓門をくぐって境内に入ると視界が開け、遠方はかすんでいるものの当日一番の眺めか。禅寺であるこの寺の前庭は枯山水風で切り込まれた桃がこじんまりと花をつけていた。

極楽寺を後にするといよいよ旅も終わりに近付く。県道を横切り小径を蛇行しながら下ること約三十分国道二四号線の鳥居戸の交差点に出た。今回のハイキングはここで終了し、解散となった。

解散後希望者は約一キロ南にある温泉施設「かもきみの湯」へと向った。今回のハイキングは一日雨の中の行進となったが、いつかまた好天の日はこのルートを歩いてみたいと思いつつ家路についた。

意され、参加者全員が日頃の腕前を競い、各自下関の話題を共有しながらプレーします。

一方、当コンペでは、独特の「あみだくじ」によりハンディを決めます。当日の成績は、優勝が熊野裕治氏（四十五期）、二位甲斐敏晴氏（三十一期）、三位筆者福田となりました。表彰式の後、幹事より甲斐先輩の高槻市医師会々長ご就任の報告と有志一同より記念品を贈呈しました。皆さんも一度参加して健康的に交友を暖めてはいかがでしょうか。

村上法律事務所

弁護士 村上 充 昭 (39期)
弁護士 村上 恵美子

事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目6番19号
北ビル2号館5階502号室
TEL 06(6365)7005 FAX 06(6365)0819

社会福祉法人

恩賜財団 大阪府済生会吹田病院

(医療機能評価認定病院)

院長 安 野 洋 一 (33期)

〒564-0013 吹田市川園町1の2
TEL 06(6382)1521(代)

第8回
ハイキング
伏見散策
2005年11月20日



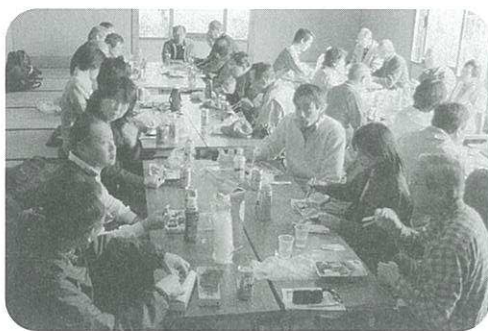
さわやかな林間コース



明治天皇(第122代) 桃山御陵にて



乃木神社にて



世代をこえた交流を



伏見酒造の町並みを
バックに記念撮影



地ビールで乾杯 (34期ミニ同期会)

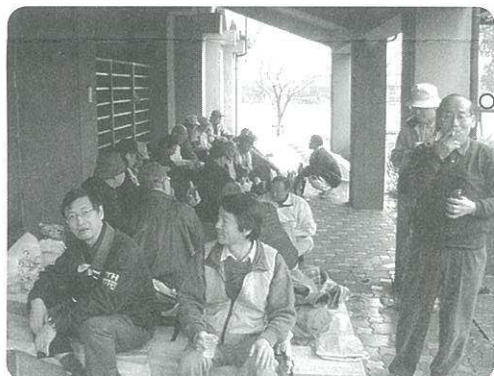
第9回
ハイキング
葛城古道散策
2006年4月2日



一言主神社にて (高さ20m大銀杏の下で集合)



九品寺にて



昼食・長柄小学校で雨宿り

食後の
一服は格別

さあ!
温泉行くぞ!

危ない!



極楽寺山門

第11回 ゴルフ大会

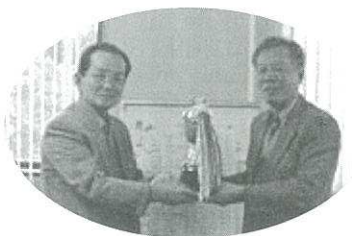


表彰式 (優勝: 熊野氏・45期)



第11回 参加者一同

第12回 ゴルフ大会



表彰式 (優勝: 米谷氏・35期)



第12回 参加者一同

万一ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、
大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市深阪5-4-8

TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204

携帯 090-1447-8368

URL: <http://www.nds-mente.co.jp>

E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店

(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)

(株) 味 鉄

〈直営レストラン〉

・舞子 ・三宮 ・本山 ・西宮 等神戸一円10店舗

・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。

お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役
舞子店長

安田 好幸 (43期)

舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)
TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>



西舞鶴駅前にて（右から5番目が筆者）



雪景色をバックに



参加者一同（霞月にて）



焼きがに



海鮮市場内



乾杯（小野先輩）

雪景色を見ながら

かにづくし

山田浩幸（五十六期）

旭陵同窓会関西支部も設立されて十二年が過ぎ、定例総会の他にイベントとして、ゴルフ会が春・秋の二回行われ、同じくハイキングが同時期に二回行われています。

第3回
日 帰 り 旅 行2006年2月4日(土)
於 舞鶴

私自身も幹事の一人として微力ながら、主として春・秋のハイキングを担当しています。

今回は、第三回目となる日帰り旅行に参加して、大先輩の方々の交流が深まったことをまずは大変うれしく感じております。その報告をしたいと思えます。

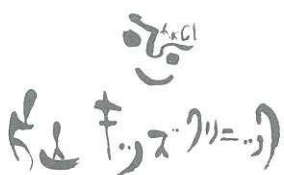
舞鶴といえば、自衛隊の基地、赤煉瓦という印象があり、十数年前に観光で当地を訪ねて以来、最近では仕事の関係（舞鶴自動車道・トンネル工事）で何度も訪れた経験がありました。ただ、今回は日帰り旅行、かにツアーということで、いつものとは違い、大変ゆつくりと楽しい一日を過ごすことができました。赤煉瓦といえば唐戸のウィリアム・コーワン設計の旧英国領事館を思い出します。私は彦島中学校出身のため、唐戸といえば、西高に通学する際のロータリーの位置にあり、よくバスの乗り換えをしたことを思い出します。また、祖母が東駅に住んでおりましたので、子供の頃に路面電車に乗ったことをふと思い出しました。

今回の第三回の旅行会には一八名の方が参加され、京都を八時五十七分に「まいづる一号」にて出発したわけですが、いつものごとく出発とともに車内で宴会が始まり、それぞれ持ち寄った郷土のつまみ（うに、ちくわ）を片手に、ビールやワイン、さらには日本酒とあらゆる種類のお酒を飲みながら、目的地の西舞鶴を目指しました。当日は少しもり気味でしたが、窓の外の風景に目をやる暇もなく、十時二十九分に到着するまでの約一時間半があつたという間に過ぎました。

到着した西舞鶴はさすがにまだ雪が残り、大阪や京都とは一風異なる風景にちよとした小旅行の気分になることができました。駅からは、旅館（霞月）の車でピストン輸送してもらい、着いた人から風呂を頂き、全員集合し、安野支部長の挨拶の後、メインイベントのかにくしの料理を大変おいしく頂きました。先輩の方々のお話も盛り上がり、お酒の量もついつい増え、窓の外の雪景色を見ながら、大変有意義な時間を過ごせたと思えます。

旭陵関西ホームページ報告
(<http://pagefreeit.com/kyoku-ryo/a/c/announce4343.html>)
にも載っているように全員の集合写真を見ると本当に満足した笑みを浮かべられていると思います。時間は過ぎ、旅館からタクシーに分乗して西舞鶴駅近くの海鮮市場（とれとれセンター）に向かいましたが、ここでもおみやげに買った海産物をつまみにまた一杯と宴会が始まりました。その後、いよいよ帰路へ着く時間となり、西舞鶴十六時二十二分発の「まいづる八号」で出発したと思いきや、また恒例の宴会が・・・本当に一日中お酒を飲んで、おいしいかにを食べ、先輩方々との懇親を深め、最後は皆酔っていました。

（鴻池組）



院長 片山 啓 (48期)

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号
TEL.078(802)5990 TEL.078(802)5991

一般保育・託児施設 ピピオ

神戸市委託
病児保育施設 プエリ

NPO法人 キッズネスト

理事長 片山 啓 (48期)

〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号
TEL.078(802)5992 TEL.078(802)5996
FAX.078(802)5992 FAX.078(802)5994

省力自動機 環境装置 設計製作

株式会社 木村製作所

<http://www.kimura-kks.co.jp>

代表取締役 木村 健三 (43期)

kimura@kimura-kks.co.jp

〒611-0041 宇治市槇島町吹前53番地

TEL 0774-21-4901(代)

FAX 0774-23-3033

関東からの便り

以前に関西に勤務され、関西支部でも活躍されていましたが、転職のため現在は関東で活躍されておられる方々に、近況、関西在住の思い出を綴っていただきました。

『拝啓
旭陵同窓会関西支部の皆様』



斎賀 俊三
(43期)

向夏の候、旭陵同窓会関西支部の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私は、昨年六月に、大学卒業後三十六年間住んだ関西から横浜に転勤し、はや一年が経ちました。

東洋アルミニウム株式会社から同業のアルミ箔メーカーの東海アルミ箔株式会社へ出向転勤しました。昨日までライバルであった同業他社への出向は、数年前まで考えられませんでした。両社が日本軽金属株式会社の子会社になり、業務提携を結び、出向命令が出た次第です。

「アルミ箔って何？」ご存知でない方もたくさんおられると思います。アルミ箔は食品、医薬品、たばこ包装、台所用日用品、さらにコンデンサー用等皆さんの身の周りで沢山使われています。

か、アルミ箔メーカー七社が競合し、どの会社も厳しい業績です。アルミ箔業界で生き残り、発展を目指して、両社が業務提携を結びました。

東洋アルミニウム入社以来、私は予算、原価計算等管理会計業務に携わってきました。世間では、団塊の世代の定年退職に伴い、若者への技術、技能の伝承が言われていますが、私も東洋アルミニウムで得た管理会計システムを東海アルミ箔に構築し、定着するよう奮闘しています。

ところで、横浜転勤に伴い四十年ぶりに関東在住の懐かしい下関西高四十三期同期生の仲間と再会することが出来ました。皆、髪の毛が白くなり、体型が変わって、最初は誰だか判りませんでした。話をしているうちに、下関西高時

『馴染めない関東生活』



蔵田 寛
(44期)

早いもので関西を離れてまもなく五年になろうとしています。これ、社会人となつての関西と関東の在住期間がほぼ同じになります。とは言っても、学生時代を含めれば関西の方がまだ長く、また高校生までの下関と、社会人となつてからも関東の八年間を除けば残りは全て西日本が私の生活圏でした。従つて未だに関東（住居は川崎市、勤務地は東京）の生活は私にとつてはどうしても馴染めない部分があります。昨年十一月に定年退職となり、一旦は再雇用契約で同じ職場に勤務していましたが、急速ある縁があつて現在の会社には勤めるようになりませんでした。出来れば定年後は西日本で生活す

代の顔を思い出し、青春時代に戻つて話が弾みました。大学時代の友人との再会も果たすことが出来、昔の友人との交際に癒されています。

また、私は山登りが好きですが、関西では遠くてなかなか行くことが出来なかつた、富士山、南アルプス、谷川岳に昨年三十年ぶりに登りました。懐かしい山々の頂上まで至福の時間を味わうことが出来ました。今年も関東、東北の山に登りたいと計画しています。

なれない単身生活で、生活環境が激変し、いろいろ戸惑うことがありますが、昔の友人との交際を深め、新たな人との出会いを大切に、関西にいたら体験することの出来なかつた新しい発見に努め、横浜の生活をエンジョイしたいと考えているところです。 敬具

会社を変わつてから今まであまり行けなかつた地方都市への出張が増えて、その地の風情を楽しむことが出来るようになり、余計に首都圏・東京の都市としての魅力のなさを感じているところです。

『関西を離れて感じること』

転勤のため関西を離れて、早いもので三年が経ちました。皆様方にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、在阪期間中は、大変お世話になりました。

今回、五月の連休で帰省した際、門田先輩から外からみた関西支部について原稿を書くように依頼がありました。私自身は、関西支部以外は東京支部しか知りませんが、東京支部は会員数も多く、総会に出席するのみに止まりました。当番幹事の年は、三十年振りの同期が多数集まり無事大役を果たすことができた。その後の総会には以前よりも多くの同期が出席するようになり、また、年一回の七夕の出会いに近いものしかありません。

しかしながら、関西支部は卒業年度の枠を超えた常任幹事の組織があり、幅広い活動が展開されています。総会以外にもハイキング大会、旅行会等が開催されるなど先輩、後輩とのふれあいの場が数多くあり、本当にアットホームな支部だと思えます。これはひとえに、関西支部を立ち上げられた諸先輩の皆さんの熱き情熱とご尽力の賜物だと思えます。私自身も常任幹事を仰せつかり、ハイキング大会を何度か企画、運営をさせて頂きました。それも、良い思い出



小田 和弘
(47期)

関西支部行事報告

▼ハイキング

第八回 (参加33名)

二〇〇五年十一月二十日

伏見散策

第九回 (参加25名)

二〇〇六年四月二日

葛城古道

▼ゴルフ

於新大阪ゴルフクラブ

第十一回 (参加20名)

二〇〇五年十月二十二日

優勝 米谷 友則 (三十五期)

二位 阿部 紀一郎 (五十四期)

三位 木原 多佳雄 (四十三期)

山城賞 (B) 高津治夫 (四十期)

第十二回 (参加16名)

二〇〇六年四月十五日

優勝 熊野 裕治 (四十五期)

二位 甲斐 敏晴 (三十一期)

三位 福田 猛彦 (三十五期)

山城賞 (B) 福田 猛彦

▼日帰り旅行 (参加18名)

二〇〇六年二月四日 (土)

西舞鶴

として脳裏に焼きついていますが、反省材料もあります。それは同期の参加率を高められずに関西を離れたことです。今後、機会があれば同期に情報を発信していきたいと思えます。関西支部には、関中、西高に在籍していたという共通項でのみ結びつき、先輩、後輩という関係以外、何らの利害関係がない人とのふれあいの場が数多く形成されています。このような良き伝統を引き継ぎながら旭陵同窓会関西支部が益々発展されることを小田原の地よりお祈りしています。

阿武山こどもクリニック

院長 岡 本 良 三 (46期)

〒569-1041大阪府高槻市奈佐原2丁目3-22
TEL072(690)3225 FAX072(690)3226

医療法人

なかじま整形外科

●リウマチ科 ●リハビリテーション科

院長 中 嶋 洋 (49期)

今年の8月15日、
下記に移転！
新しい病院になります。

〒569-0814 高槻市富田町3丁目1番10号
☎ 072-690-3230 FAX 072-690-3231

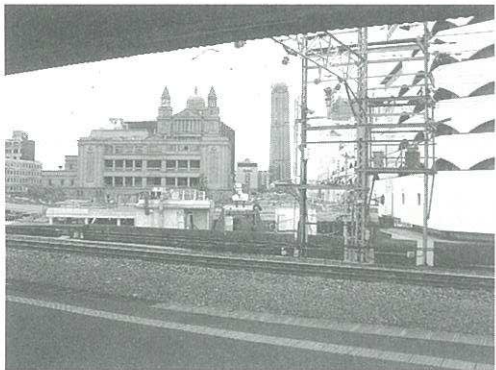
下関駅 昔と今

小田克己（五十二期）

昭和五十年卒、五十二回生の小田克己です。彦島出身ですが現在は下関安岡の富任町に住んでおります。

下関で変わったところの紹介ということで、いろいろ考えた末、現在私が毎日通勤で利用しているJR下関駅を選びました。

ご承知の通り、今年の正月早々おこった火災事件はまさに衝撃的なニュースでした。当時のようすはニュース画像などで記憶の通りですが、現場は今もって更地という状況です。場所が場所だけに、各方面の意見を取りまとめて着工するまでは、これからのかなりの時間がかかるように思います。五月の先帝祭は更地で迎えました。八月のみなど祭りや花火大会もおそらくこのままでしょう。今年の四月に下関市の観光課長になった同期の中西君にとっても頭の痛い問題だと思います。



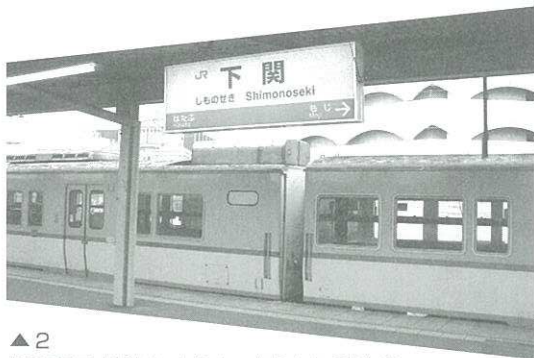
▲1

駅のホームに立って、山銀本店方面を見えています。その本店をほぼ見えなくしているのは、昨年9月に開業した結婚式場です。この絵は三角屋根があれば十分に見ることができない景色でした。



▲3

それぞれのホームに上り専用のエスカレーターもつきました。降りてくる人と上がる人がぶつかることがなくなりました。



▲2

駅の表示はむかしよりすっきりしたデザインでしょうか。とまっているのは2両編成の私の通勤列車でもある山陰線のディーゼルカーです。

しかし最近の駅周辺はとくに東側の、むかし連絡船が出たり鉄道の引込み線がいっぱいあったあたりの整備が進み、線路を取り除けたただけに、家電店やパチンコ店、スーパーなどがゆつたりと店を構え、下関には不似合いと思わ

れるほどの、でかくて高くて立派なマンションが建設中のものを含め複数できつつあります。値段はピンきりですが、少なくとも関西方面よりは少ない負担で、より充実したものを手にすることができると思います。東京、大阪と暮らしてみてもやはり我が下関は、穏やかな住みやすい町だと思います。最近の駅構内や周辺の写真を掲載しましてわたしの「下関で変わったところ」の紹介とさせていただきます。皆様のご健康ご活躍をお祈りいたします。



▲6-1



▲6-2

外へ出て仮設通路を上から見たところ、もと三角屋根があったところです。今はご覧の通りの更地です。むかしは左奥のほうに、国鉄物資部というところがあって、運送費は国鉄負担でただだからほかより安い、などということでお袋さんが着るものなど買っていたような記憶があります。



▲8

竹崎方面を見たところ。むかしであれば左手に見える彦島の山を隠すように大丸が建っていたはず。ちなみに現在彦島方面のバスは、写真中央部分からスタートし、ガードを越えて左折して、駅西口停留所になります。



▲4-2

改札を通り抜けると真正面にあたる、名店街入り口とうどんコーナー。この2枚の風景は、場所も、前から見た感じも昔の面影をよく残しているのではないのでしょうか。口に入れたとたんにとけてしまう柔らかい麺と薄口だしのうどんは、個人的には強く、関の味を感じるものです。名店街は今、古本屋と100円ショップ、おおく場所を占めています。名店街を通り抜けるとトイレになりますが、こもむかしと比べ、きれいになりました。

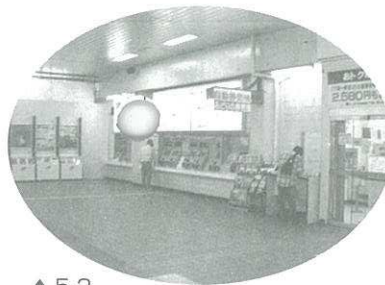


▲4-1

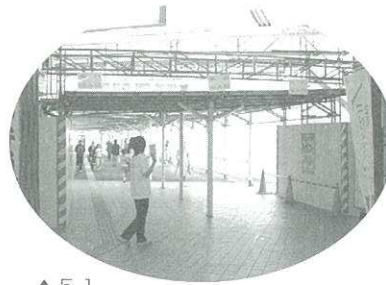


▲7

駅を背にして山銀方面を見たところ。海峡ゆめタワーが見えます。サンデンバスは今日も元気に下関の街を走っています。むかしは路面電車も走っていました。



▲5-2



▲5-1

4の反対側、改札口の並びです。左が券売機とみどりの窓口、右が東口方面シーモールや山銀本店に向かう仮設通路です。夜も暗くないように蛍光灯がついています。火災前は、券売機のならびに携帯電話屋と印鑑屋があり、出口付近には、日本旅行もありました。むかしは切符売り場が今よりずっと大きかったように思います。



▲10-2

10-1は山銀本店東側のようす。真正面の山に見えるのは、大歳神社とそれに上る階段です。10-2はまだできて新しい関釜フェリーの乗り場へと続く歩道橋です。その右は、下関市民会館です。雲をかぶった、関門海峡対岸の門司の戸ノ上山が見えます。



▲10-1



▲9-2



▲9-1

9-1は山銀本店南側のようす。左から順に山銀本店、パチンコ永楽、海峡ゆめタワー、家電販売のデオデオと現在建設中の22階建てマンションです。駅に近く人工地盤とも直結しているというのが宣伝文句でしたが、すでに完売したようです。9-2は、1の写真の通路をずっと進んでいったところ。左側がパチンコ永楽、真正面に海峡ゆめ広場とアリーナがあり、いろいろな催し物に使われます。すべてむかしは線路がいっぱいあったところです。

からだにいいこと始めたい人へ！
梅田の中心「大阪駅前第一ビル」にある
日本最大級（155坪）の広～い教室で、のびのび楽しく

さあ、ごいっしょにYOGAしましょ！

お問い合わせは

Japan YOGA college

ジャパン・ヨガ・カレッジ大阪本校

〒530-0001

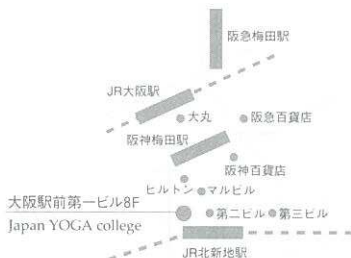
大阪市北区梅田1丁目3番1-800 大阪駅前第一ビル8F

TEL.06-6345-3811（代） FAX.06-6345-3816

江坂校：吹田市江坂町2丁目7-25 ビスタ江坂8F TEL.06-6192-3640

URL: <http://www.j-yoga.jp> E-mail: info@j-yoga.jp

理事 山内 英雄（40期生）

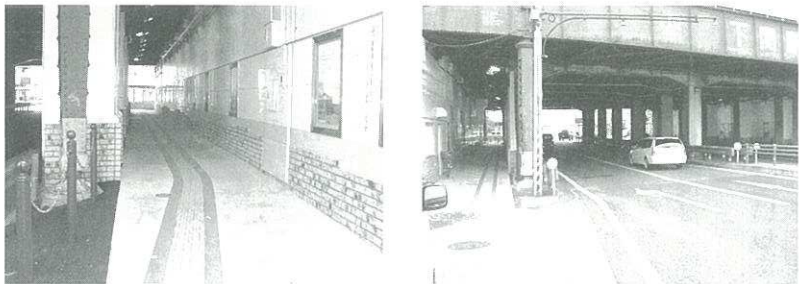


Japan YOGA college

- J-YOGA の普及活動
- ヨガ教室の運営事業
- ヨガ教室のF C事業
- ヨガ指導者の養成教育事業
- ヨガ講師の派遣事業

J-YOGA Future Club

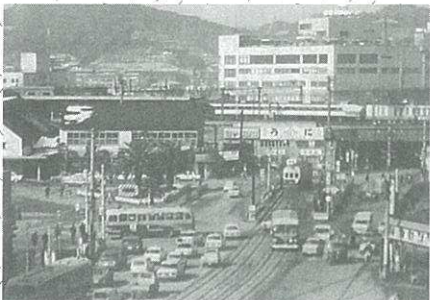
- 海外ボランティア活動支援事業
 - 小学校建設支援（ラオス・カンボジア）
 - 職業訓練施設建設支援（ラオス）
 - 識字教育設備支援（カンボジア）
 - バンラン大学日本語講座奨学金支給（ベトナム）
 - 障害児教育センター建設支援（ベトナム）
 - 現地スタッフ活動資金支援（ベトナム）



右側通路も左側通路も、こんなにきれいになりました。

ここまでは現在の駅周辺の写真でしたが、最近8の写真にあるガードの歩道部分がきれいになりましてその両側にパネルにして、何枚かの写真がおさめられています。写真を見るといろいろ記憶がよみがえります。彦島方面のバス停で一番記憶の古いのは、一番上右側の写真の右下あたりからスタートし、いきなり路面電車の線路や他の車線をまたぐかたちでUターンしてから西口方面に向かっていたました。東口に向かう通路の真ん中あたりにあった小さな水族館もなつかしいものです。下の写真とメッセージは、その歩道に設置されたパネルを転載したものです。今回下関市の了解を頂き、会報に転載いたしました。

若者がたくさんの希望を抱えて改札を通る駅・・・40年前の私のように。



白黒の古いアルバム
三角屋根
私たちの記憶にも残したいー



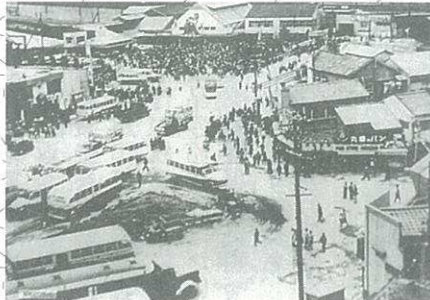
「水族館で待ってるね。」と言え下関駅のことでした。シンボルがあるって良いですね！



三角屋根・吹き抜け天井と水族館は、下関駅のシンボルでした。



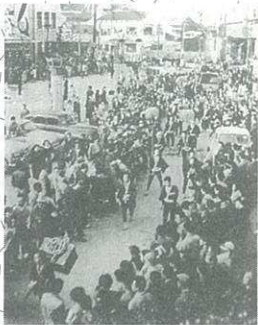
戦後の復興を見守った三角屋根のJR。人生の節目に勇気ありがとう。地元の誇り下関駅



電車通学だった高校時代待ち合わせは「駅の水族館」海の街にぴったりの場所でした♪



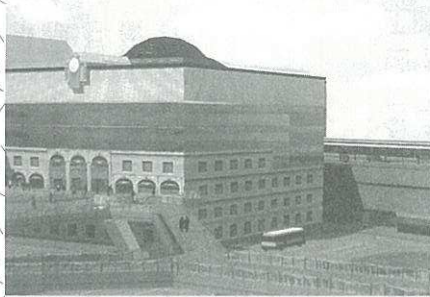
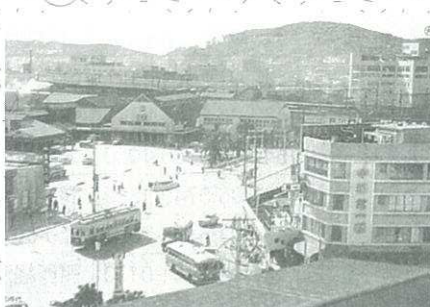
鯨、景気に沸いたマルハ通り、大洋ホエールズの活躍に沸いた町。わたしの宝物です。



水族館を左手に約束の場所。三角屋根の時計の下。ウキウキしていました。



振鈴が鳴るホーム、三角屋根。今日から人にやさしい駅の歴史がはじまる。



未来の下関駅 (1)

時代に流されないで海峡の町の駅に「ただいま帰りました」といえる駅にしたい。



未来の下関駅 (2)

大勢の幸せを運んでくれた下関駅。これからもHAPPYな駅でありますように・・・。

アルルが帰ってきました！以前同様よろしくお願いたします

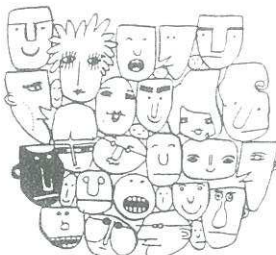
アルル

深川 れいこ



〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目3-33
北新地萬年ビル2階5
(堂島上通り・国際モータープール隣り)
TEL.06-6344-2468

旭陵同窓会の皆さま
ポケットです
よろしくお願いいたします



PIANO BAR
Pocket

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地1-11-19(北新地スタービル9F)



PIANO BAR
Pocket
北新地スタービル9F
TEL.(06) 6345-3996

母校の綴帳寄付を

きっかけに

関西支部事務局長

杉 顕紹（四十三期）

このたび、母校の体育館の建設に伴い綴帳を寄贈したいという同窓会本部の呼びかけに応じて、関西支部の皆さんにご協賛をお願いしました。六月末に締め切る予定ですので途中経過のご報告になりますが、現在七十六名の方から約五十三万円の浄財をお寄せいただきました。この場をお借りして心からお礼を申し上げます。今回の綴帳寄付のお願いを通じて感じましたことや、平素事務局を担当して感じていたことを記しまして今後のご支援とご理解を得たいと思います。

○全会員にお願いしました

今回をお願いするに当たっては、関西支部の役員会でも、お願いの仕方から始まって依頼の文章の内容、領収書の発行の方法に至るまで色々な論議を行いました。その結果、お願いの文書は、事務局が把握している関西在住の会員全員の方にお送りしようということになりました。現在、当方で把握している関西在住の会員の数は、約820名になります。しかし、毎年発行する会報は、この会員の全員の方にお送りしているわけではありません。ご本人から「会報等の送付は不要」という申し出をいただいた方、および過去連続三年出欠の回答はがきの返送がない方にはお送りしないことにしております。通常の方で会報をお送りする方は約五百二十名程度になっております。（文末の資料を参照下さい）

しかし、今回の綴帳新調の計画は本部で方針を決定されたものですから、全員の会員の方にお知らせする必要がありますと判断しました。その結果、これまで何年も連絡も

なかった方に突然お願いの文書が行ったり、既にお亡くなりになった方宛に文書が送付されたりと、ご迷惑をおかけすることにもなりました。この場をお借りして改めてお詫びを申し上げます。

その結果、先に記しましたように、多くの方からご賛助をいただき、また声をかけていただきました。一口金額に設定しました五千円以下の金額をお送りいただいた方もありました。本当にあり難く嬉しく受け取らせていただきました。会員の皆さんのできる範囲でご協力をお願いしたいというのが趣旨であり、その積み重ねがこの金額になったということを改めて実感いたしました。

○ご支援が力です

考えてみますと、今回の綴帳のような案件は、ほとんどの方にとつて自分では使う見込みもない体育館への賛助なのです。もちろんご自身が体育関係の部活動をやっておられた方なら少しでも親近感を持っていただけるでしょうが、多くの会員にとつては、顔も合わせたことのない母校の後輩のことを思つて協力しようかということになります。それにもかかわらず多くの賛助をいただき、同窓会の活動というものは、いわば見返りの少ない奉仕に近いものに支えられているものだ改めて感じました。例年の活動を振り返って見ても、匿名で活動資金を賛助いただく方もありますし、毎年の総会の後の懇親会で行われる福引にも多くの方から賞品の協賛いただいております。支部の行事の企画や実行を担当しております役員も、忙しい時間を割いて総会の準備を行い、ハイキングの下見に出かけ、会報の編集を行っております。このように多くの会員の皆さんのご支援で成り立っているのだと改めて感じた次第です。

○県人会も見直されています

六月六日の日経新聞の夕刊に「そうだ県人会に行こう」と題した特集記事が掲載されていました。古くからある県人会が、最近は運営を工夫して若い人や女性の参加者を増やしているというようなことが紹介されていました。これまでは、若い人や女性にとつて県人会というのは親しみをもちにくいものだったようです。ところが、一度出席してみると、お国言葉が飛び交い、偉い人も若い人も皆同じ立場で接することができるといふ良さに気づいて、参加者が徐々に増えているという内容でした。社会的な人脈形成という効用もあるのというのが、参加してほつと気分が安らぐといったところが直されているようです。

私達は、生活をしながら色々な場を形成し、色々な場に属しています。男性ですとまず会社という場があり、その存在が実に大きくて、在職中は会社が唯一の場になっているというのが実態かもしれません。そのほか、趣味を生かした活動、居住している地域社会での活動などさまざまな場があります。その意味では女性の方が案外多くの場を持つておられるかもしれません。でも、持っているにしても、持っている「場」の数は多ければ多いほど多彩な生活が営めるといえるようです。県人会が見直されているということも、そのような新しい場として見直されていることだと思ひながらこの記事を読んでいました。

○同窓会を

新しい「場」に

同窓生の集まりである同窓会を皆さん

の一つの新しい「場」に加えていただければ嬉しく思います。これまで、「知らない人ばかりだろうから・・・、お年寄りが多そうだから・・・」と参加を躊躇されている方も、ぜひ一度どれかの行事に参加してみてください。会報の行事参加者の文章にありますように、きつと、先輩や後輩が話しかけてきて、新しい「場」を実感できると思いますよ。お待ちしております。

▼会報を送付した会員数
五百七名

▼出欠の回答のあった会員数
三百二十八名（63%）
総会へ出席者数
八十名（15%）

総会に欠席される方も回答の返はがきはぜひ返送いただきますようお願いいたします。

旭陵同窓会関西支部役員

	氏 名	期	電話番号	勤務先
支 部 長	安野 洋一	33	06-6382-1521	済生会吹田病院
副支部長	福田 猛彦	35	06-6214-8620	近畿ディベロップメント
"	村上 充昭	39	06-6365-7005	村上法律事務所
顧 問	空谷 俊和	27	0775-88-3045	自宅
"	甲斐 敏晴	31	072-681-5717	多摩リヶ丘病院
"	内藤 尚	31	072-696-6202	自宅
幹 事 長	末光 久	42	072-681-5717	みどりヶ丘病院
事務局長	杉 顕紹	43	06-6346-6720	東洋化成工業
会 計	阿部紀一郎	54	06-6586-1053	大阪ガス
会計監査	後田 敏夫	42	06-6749-1885	鋼洋
常任幹事	門田 宰	43	03-5484-7631	光アルファクス
"	竹内 正文	44	06-6441-0130	関西経済連合会
"	上村 繁典	48	06-6748-3838	誠商会
"	中嶋 洋	49	072-690-3230	なかじま整形外科
"	矢野 彰一	50	06-4705-8531	ミズワン
"	来島 達夫	50	06-6375-8971	JR西日本
"	永地 英仁	52	06-6266-8039	エヌアイ帝人商事
"	大野 浩史	53	06-6244-5131	SMBCビジネス債権回収
"	田底 成智	55	06-6393-9906	中央復建コンサルタント
"	山田 浩幸	56	06-6244-3684	鴻池組
"	三戸 和子	62	06-6341-1556	大阪ニューアートクリニック
"	柴田 徹也	64	06-4806-2737	プルデンシャル生命

関西支部事務局 〒663-8871 西宮市甲子園1番町4-1-215 杉 顕紹
TEL・FAX 0798-47-9148 e-mail: sugi@pski.mm-m.ne.jp

お知らせ

第十回ハイキングのご案内

日時 十月 未定(日)
場所
詳細は関西支部ホームページ・メール等でお知らせいたします。
ご家族の方の参加も大歓迎です。
申込先 阿部(五十四期)
山田(五十六期)

第十二回ゴルフコンペご案内

平成十八年十月未定(土)
於 新大阪GK
申込先 福田(三十五期)
山田(五十六期)

第四回旅行会

日時 未定(土) 場所未定
詳細はホームページ等でお知らせいたします。
幹事 来島(五十期)

編集後記

◇「旭陵関西」十一号をお届けします。十号までと紙面の雰囲気は違っていることに気付かれましたか。今号から文字が大きくなりました。多少見やすくなったかと思ひます。

◇今回、関西支部会員の本誌への寄稿者は八人です。そのうち、初めて寄稿いただいた方は五人。まだこの旭陵関西に登場されていない会員の方が多くおられます。出来るだけ多くの方に原稿を書いていただき、皆さんにご紹介したいと思ひます。

◇ハイキング・ゴルフ・日帰り旅行等、定例行事も定着してきました。三十三期の卒業五十周年記念同期会は、東京支部、関西支部を中心に、浜名湖館山寺温泉で、南高卒業生も交え盛大に行われたようです。「旭陵関西」が同窓会の発展にお役に立つことが出来れば幸いです。

◇今年の講演会は、「チルソクの夏」「四日間の奇跡」「カーテンコール」の映画監督、佐々部清氏をお招きしています。佐々部氏は、幹事大野さんの中学時代の同級生です。今回佐々部氏招聘に当たり、いろいろとお骨折り頂きました。講演演題は「映画が人を作り、人が映画を作る」ご期待ください。

◇「関東からの便り」は五月の連休最後に編集会議を開きテーマを決めました。短時間にもかかわらず寄稿いただきましたお三方、ありがとうございます。

◇「下関駅昔と今」懐かしい写真がたくさんあります。小田さん、お忙しい中での写真撮影、原稿ありがとうございます。またパネル写真の掲載に当たり、幹事永地さんには市役所との交渉に奔走いただきました。◇十一号はたくさんの方々のご協力、発行にこぎ着けました。改めてお礼申し上げます。（門田）